

はじめに

本校は、県最北東部に位置し、鳥取県や兵庫県と境を接する全校児童78名、7学級の小規模校です。「百年の森林」構想を掲げる西粟倉村の豊かな自然環境のもとで、幼稚園・小学校・中学校の12年間の一貫した人づくりをめざして、日々教育実践を展開しています。地域の教育に対する関心も高く、「子どもは地域の宝」を合言葉に積極的に教育活動を支援していただける、まさに地域の学校です。

さて、本校は平成27年度28年度の2年間にわたり、一般社団法人日本学校歯科医会より「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」推進校の委嘱を受け、研究推進に取り組んできました。

研究を始めるにあたり、何か特別な取り組みをするのではなく、長年取り組んできた「ふるさと元氣学習」で培ってきた表現力・情報発信力や「五感を活用した」感受性を土台として、本校の色々な取組を整理統合しながら研究を積み上げることを確認しました。

取組を進める中で「歯・口の健康」が一生を健やかに過ごしていくためにいかに大切なものかを、まず教職員が再認識し、知らず知らずのうちに教材・教具づくりにも熱が入る次第でした。そして、次の世代を生きる子ども達が、自分の体・健康について「興味を持ち、課題を見つけ、取り組む」ことで、一生健康に、幸せに生きてほしいという思いから、研究主題を「自ら課題を見つけ、進んで健康づくりに取り組もうとする子の育成」としました。

また、本校の取組が、村保健福祉課・地域学校保健委員会の協力のもと幼稚園・中学校・地域にも広がっていったことはとても喜ばしいことでした。

本日は、2年間という短い期間での研究のまとめで十分とは言えませんが、児童・教職員の思いを感じていただき、ご助言やご鞭撻をいただければ幸いです。

尚、本研究の推進に当たり、ご多用の中、講演をいただき多くのご示唆を与えてくださった岡山大学医学部・歯学部附属病院小児歯科長仲野道代先生、研究の方向性や内容についての的確なご指導と励ましをいただいた岡山県教育庁保健体育課福本和宏先生・小川泰永先生・末廣真由美先生・阿部さやか先生に心より感謝申し上げます。また、地域推進委員会では、岡山県歯科医師会黒住正三先生・黒木祐二先生・柴田宏先生・県歯科医師会勝英支部、県学校保健会美作市英田郡支部、西粟倉村教育委員会の諸先生方にご助言ご協力いただき研究を進めることができました。最後になりましたが、学校歯科医の千原直人先生、歯科衛生士の兼本郷美先生には、たびたび授業や集会活動に参加していただき、直接子ども達にかかわっていただく中で、健康に関する知識や意識の向上に大きく貢献していただきました。

学校内外の多くの皆様方のご支援により研究実践を進め、今日の日を迎えることができました。関係者の皆様方には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

平成28年11月2日

西粟倉村立西粟倉小学校

校長 岸本 一二三

目 次

はじめに

I 研究の概要

1 研究主題	1
2 研究主題設定の理由	1
3 研究主題について	2
4 研究の重点	2～3
5 めざす児童像	3
6 研究仮説	3
7 研究組織	3
8 研究全体構想図	4
9 研究の経過	5～7

II 研究の内容

1 研究の基本構想	8
2 授業実践	8～9
3 日常活動	10
4 学校行事や児童会活動	10
5 家庭・地域等との連携	10～11
6 歯・口の指導計画表と実践計画表の作成	12～14

III 研究の実践

1 各学年の授業実践	15～63
2 食に関する指導	64～69
3 日常活動	70～72
4 学校行事や児童会活動	73～75
5 幼・小・中連携	76～77
6 家庭・地域との連携	78～80

IV 成果と課題

1 体験的な活動を工夫し児童の主体的・意欲的な学習を促す授業づくり	81～82
2 児童の意識を高め、継続できる日常生活の指導	82
3 家庭・地域との連携	82～83
4 児童・保護者のアンケートから	84～87

V 資料

1 平成28年度学校保健計画	88
2 アンケート用紙	89～90
3 地域推進委員会会則・構成員氏名等	91～93

おわりに

研究同人

I 研究の概要

I 研究の概要

1 研究主題

「自ら課題を見つけ、進んで健康づくりに取り組もうとする子の育成」
～歯・口の健康づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

(1) 社会的課題から

わが国は、世界の中でも有数の長寿国である。しかし、長期にわたる不適切な生活習慣が原因となる生活習慣病の増加や寝たきりなどの状態を防止し、生涯にわたってセルフ・コントロールを可能とする「健康寿命」を伸ばしていくことが求められている。生活習慣病につながる生活習慣は学齢期から始まると言われている。教育によって一人一人の生涯にわたる健康づくりの基礎を培うことが極めて重要で、学校における適切な学習や指導によって健康観の育成や健康行動の確立が求められる。

そこで、歯や口は鏡を見ることによって自分の体の状態や変化を直接的に観察することができ、適切な歯みがきやよく噛むこと・間食の摂り方など、日常生活の改善で結果も実感しやすく、学齢期の子どもたちにとっては極めて有効な学習材である。今日の教育的課題である「生きる力」をはぐくむためにも、ヘルス・プロモーションの理念を取り入れ、児童自ら進んで健康づくりに取り組む子どもを育成していくことが求められる。

(2) 児童の実態から

平成 27 年度のむし歯被患率を県平均、全国平均と比較すると、本校児童は 17.6%と下回っている。また、むし歯のある児童の治療率は、平成 27 年度は 75%となっており、歯肉炎などの歯周疾患を持つ児童はほとんどいないという状況である。

実態把握のために平成 27 年 2 月に実施した歯・口に関するアンケート結果によると 1 日 3 回の歯みがきができている児童がおり、1 回の歯みがきにかかる時間も 3 分未満という児童が多かった。また、鏡を見て自分の歯や口を観察しながらみがけている児童も半数ほどで児童にとって歯みがきが主体的なものになっていないようである。

また、食事について好き嫌いがあると答えた児童は半数を超えていた。しっかり噛んで食べている児童も半数ほどだった。

間食について、1 日の間食の回数は 1 回と 2 回が多かったが、夜歯みがきをした後に食べることがあるという児童も少数いた。間食の内容については、果物・チョコレート・グミ・ジュースなどが多くなっており、間食の摂り方についても家庭によって様々だった。

(3) 保護者の実態から

もし、児童のむし歯が見つかったら「すぐに治療に連れて行く」という家庭が 8 割ほどだったが「痛がるようなら連れて行く」、「歯医者に行く時間が取れない」という家庭もあった。仕

上げみがきを行っている家庭は全体の 3 割で、1・2年生の保護者がほとんどだった。保護者が児童の歯・口への関心の高かったものは、むし歯の有無や歯並びだった。

また食事のことや間食のことで気にかけているのは半数ほどで、家庭によって「食」への関心にも差があるようだ。

(4) 学校教育目標の具現化から

本校の教育目標は、『心豊かで、自ら実践しようとするたくましい児童の育成』である。この教育目標に向けて、「かんがえる子（自ら考え行動する子）」「やさしい子（思いやりがあり、助け合う子）」「がんばる子（最後までやりぬく子）」という3つの児童像を設定し、すべての教育活動の中で具現化に努めている。

今回の研究指定を受け、「自ら課題を見つけ、進んで健康づくりに取り組もうとする子の育成」と研究主題を設定し、歯・口の健康づくりを通して、目指す教育目標にせまりたい。

3 研究主題について

『自ら課題を見つけ』とは、自分の生活を見つめ、自分の体や健康に興味・関心を持ちながら、健康づくりのためにどのような課題があるか自ら見つけ出す力を持つことだととらえる。

『進んで健康づくりに取り組む』とは、むし歯や生活習慣病の予防という視点だけでなく、さらに健康の良さに気づいて自ら実践していく児童を意識している。よりよい健康づくりに目を向け、他律から自律へ、協同して働きかけができる子どもの育成を目標とする。

そこで、研究主題にせまる主体的な学びを促す学習サイクルとして、本校の研究の柱として取り組んでいる、ふるさと元気学習（総合的な学習）と同様に、「課題をつかむ」「ふかめる」「ひろげる」「実践してみる」「つなげる」とする。それぞれの段階に必要な指導の内容や方法を工夫し、児童が探求的活動を進めていくための支援のあり方を協同研究しながら本研究の主題にせまりたい。

4 研究の重点

(1) 授業の充実（学級活動、総合的な学習の時間、保健体育、家庭科など）

○体験的な活動を工夫することで、児童の主体的・意欲的な学習を促すとともに、発達段階を考慮して児童が歯や口の健康状態を理解し、それらの健康を保持増進する態度や習慣を身につけることができるようにする。

○学校歯科医や歯科衛生士などの専門的な知識を生かしたT・T指導を行うことで、「歯・口の健康」「食育」「生活習慣」に関する理解を深め、実践できるようにする。

(2) 日常生活の充実及び環境整備

○「歯と口の健康週間」の取組で歯科衛生士による歯みがき指導や、歯みがき点検カードの実施、給食後の歯みがきの徹底を図ることで、自分の歯や歯ぐきに関心をもたせるとともに今の状態に気づかせる。

○児童会活動で歯・口について毎学期取り上げ、集会活動や掲示物の充実などの様々な活動を通して歯・口の健康づくりに対する意識を高め習慣化を図る。

(3) 家庭・地域との連携

○学校での取組を「ほけんだより」「学校だより」「地域学校保健委員会だより」などを通して家庭などに伝え、PTAや地域学校保健委員会などの活動を通して将来にわたる健康づくりを考えた望ましい生活習慣の定着に向けて、協力を図る。

5 めざす児童像

- ①自分に合った課題を見つけることができる子
- ②自ら進んで実践し、健康づくりに取り組む子
- ③自分自身を大切にし、将来にわたる健康づくりを考える子

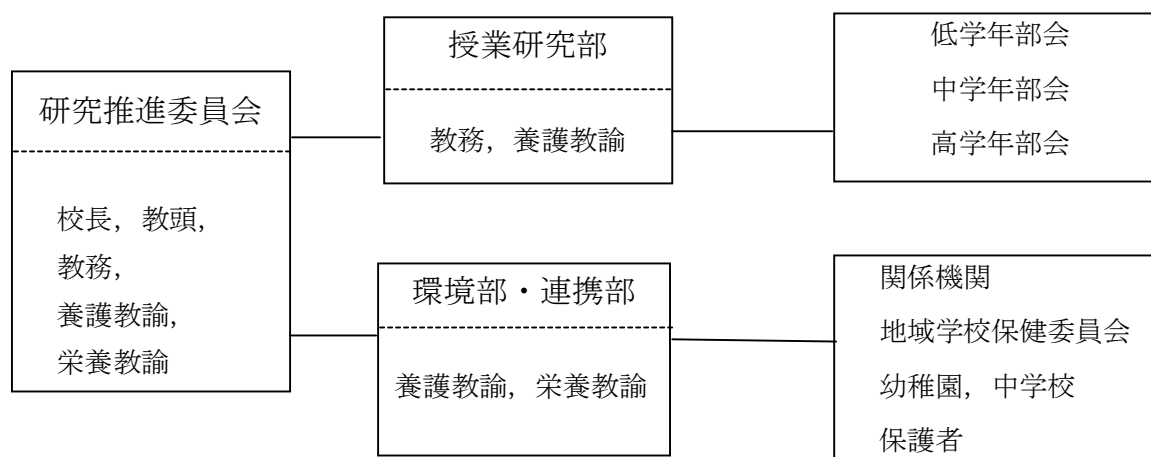
6 研究仮説

仮説1 体験的な活動を工夫したり、専門的な知識を生かしたT・T指導を行ったりすることで、理解を深め、児童の主体的・意欲的な学習に繋がり、歯・口の健康を保持増進する態度や習慣を身につけることができるであろう。

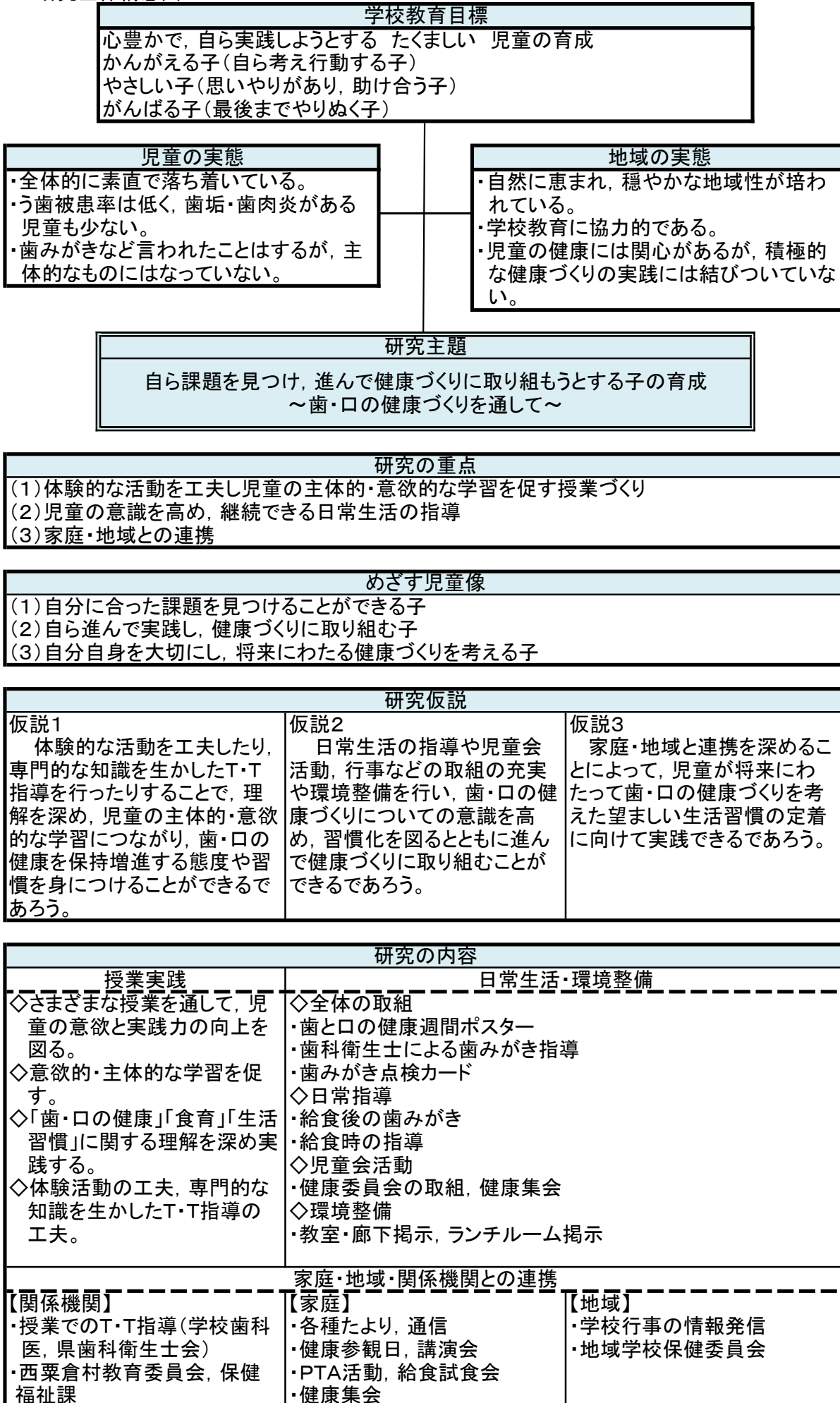
仮説2 日常生活の指導や児童会活動、行事などの取組の充実や環境整備を行い、歯・口の健康づくりについての意識を高め、習慣化を図るとともに進んで健康づくりに取り組むことができるであろう。

仮説3 家庭・地域と連携することによって、児童が将来にわたって歯・口の健康づくりを考えた望ましい生活習慣の定着に向けて実践できるであろう。

7 研究組織



8 研究全体構想図



9 研究の経過

【平成 27 年度】

月 日	全体会・部会	授業研究・日常活動	各種連携
4月3日(金)	○第1回校内研修会 (年間計画)		
5月15日(金) 20日(水) 27日(水)	◎第2回研究推進委員会 ○第2回校内研修会 (指導案検討) ●歯・口健康診断	○歯と口の健康週間ポスター・標語募集	県保健体育課 末廣先生 学校歯科医
6月17日(水) 24日(水)	○第3回校内研修会 (指導案検討) ○第4回校内研修会 (授業反省)	○公開授業 1年生「だいいちだいきゅうしをたいせつにしよう」 2年生「えいきゅうしを大切に」 ○歯みがき指導 3・4年生「むし歯のでき方とみがき方」 5・6年生「歯肉炎の症状とみがき方」 ☆歯みがきチェックカード ☆健康委員会による歯ブラシ点検・歯みがきの仕方発表, ポスター・標語の表彰	養護教諭 歯科衛生士
7月27日(月)	○第5回校内研修会 (研究のすすめ方) ◇地域学校保健委員会 (健康診断結果, 1学期の歯・口の取組報告)	☆地域学校保健委員会だより	教育委員会 保健福祉課 幼稚園 中学校 学校歯科医
8月26日(水)	◎第3回研究推進委員会 ○第6回校内研修会 (講演会) 岡山大学病院小児歯科長 仲野道代先生「子どもの歯・口の健康」	☆夏休みのくらしカード	
9月16日(水)	○第7回校内研修会 (2学期の取組)		
10月5日(月) 13日(火) 19日(月)	◎第4回研究推進委員会 ●歯・口健康診断 ○第8回校内研修会 (指導案検討)		学校歯科医
11月2日(月) 10日(火) 16日(月)	○地域の8020達成者インタビュー 西栗倉村教育ネット授業公開	○公開授業 4年生「むし歯のないピカピカの歯をめざそう」 3年生「歯みがき名人になろう」	教育委員会 幼稚園 中学校 学校歯科医

18日(水)	○第9回校内研修会(授業反省)	☆健康集会17日(火) 歯・ロクイズ, むし歯予防劇, 歯みがき名人表彰, 体験コーナー ☆歯みがきチャレンジカード	歯科衛生士
12月3日(木) 7日(月) 24日(木)	◎第5回研究推進委員会 ○第10回校内研修会(授業反省)	○公開授業(にこにこ学級) 「よく噛んで食べよう」 ☆冬休みのくらしカード ☆地域学校保健委員会だより	
1月6日(水) 18日(月)	◎第6回研究推進委員会 ○第11回校内研修会(指導案検討)		アンケート
2月9日(火) 24日(水)	○健康参観日 講演会 岡山大学病院小児歯科長 仲野道代先生「子どもの歯 SOS ～こんなことが起こったら～」 ○地域推進委員会 平成27年度研究の報告 ○第12回校内研修会(授業反省) ◇地域学校保健委員会(1年間の歯・口の取組)	1・2年生「よくかんでたべよう」 3・4年生「おいしく食べるひみつをさがろう」 5・6年生「歯肉炎を予防しよう」 ☆地域学校保健委員会だより ☆健康委員会 歯みがきDVD作成	学校歯科医 栄養教諭 養護教諭 教育委員会 保健福祉課 幼稚園 中学校 学校歯科医
3月1日(火) 9日(水) 24日(木)	◎第7回研究推進委員会 ○第13回校内研修会 反省 ◎第8回研究推進委員会		

【平成28年度】

月日	全体会・部会	授業研究・日常活動	各種連携
4月 4日(月)	○第1回校内研修会(研究主題, 計画)		
5月 16日(月) 20日(金) 25日(水)	●歯・口健康診断 ◎第1回研究推進委員会(研究会について) ○第2回校内研修会(指導案検討)		学校歯科医 保健体育課 阿部先生
6月 3日(金) 10日(金) 16日(木)	全国学童歯みがき大会	○公開授業 5年生「歯肉炎を予防しよう」 6年生「よく噛んで健康なからだを目	

22日(水)	○第3回校内研修会(授業反省)	指そう」 ☆歯みがきチェックカード ☆健康委員会歯ブラシ点検, 歯のみがき 方発表, 歯みがき名人表彰	
7月 8日(金)		☆健康集会 1年生「はのおうさまをまもろう」 2年生「まえばのみがきかた」 3年生「おやつについて考えよう」 4年生「おでかけ歯ブラシ」 5年生「歯肉炎にならないためにできること」 6年生「私たちが考えたカミカミメニュー」	
20日(水)	◇地域学校保健委員会(1学期の取組)	☆地域学校保健委員会だより	教育委員会 保健福祉課 幼稚園・中学校 学校歯科医
28日(木)	○第4回校内研修会(研究のまとめ)		
8月 2日(火)	◎第2回研究推進委員会	☆夏休みのくらしカード	
3日(水)	○第5回校内研修会(研究会準備)		
25日(木)	○第6回校内研修会(指導案作成)		
9月			アンケート
10月3日(月)	◎第3回研究推進委員会		
5日(水)	○第7回校内研修会(指導案検討) ●歯・口の健康診断		学校歯科医
19日(水)	○第8回校内研修会(指導案検討)		
11月2日(水)	○ <u>研究発表会</u>	◎公開授業 1・2年生「前歯をみがこう」 3年生「五感が満たされる食べ方」 4年生「むし歯のでき方と予防」 5年生「かむことの重要性」 6年生「すべての歯のみがき方」	学校歯科医 歯科衛生士 養護教諭 栄養教諭
16日(水)	○第9回校内研修会(研究会反省)		
12月1日(木)	◎第4回研究推進委員会	冬休みのくらしカード	
1月11日(水)	○第10回校内研修会(研究のまとめ)		
2月28日(火)	◇地域学校保健委員会(取組のまとめ) ◎第5回研究推進委員会		
3月8日(水)	○第11回校内研修会(来年度計画)		

Ⅱ 研究の内容

II 研究の内容

1 研究の基本構想

自ら課題を見つけ、進んで健康づくりに取り組もうとする子の育成
～歯・口の健康づくりを通して～



2 授業実践

(1) 体験的な活動の工夫

児童が自分の歯・口に関心を持ち、主体的に学習できるよう、教材や視聴覚機器を用いた体験的な活動を積極的に取り入れていく。「食べ物わくわくたんけん」においても五感を使って食材そのものの味を感じることができるよう旬の食材を取り上げる。

(2) 専門的な知識を生かした T・T 指導の工夫

学校歯科医、歯科衛生士、養護教諭、栄養教諭などとの T・T 指導による専門性を生かした指導を行う。

(3) 自ら考え学び合う場の設定

個人で考えた意見をもとに、グループや全体で話し合い活動を取り入れていく。話し合いが活発に行われるよう、話し合いのポイントを提示する。

(4) その他

学習の過程を「つかむ→ふかめる→ひろげる→実践する→つなげる」に統一することで、各学年とも同じパターンで学習に取り組めるようにする。

また、評価規準は、本校の研究の柱である、ふるさと元気学習の ESD（持続可能な開発のための教育）の視点から「ふれあい関わる力、自ら学びつくり出す力、自己を見つげともにより良く生きる力」としている。

歯・口に関わる評価規準

1 ふれあい関わる力	2 自ら考え学びつくり出す力	3 自己を見つめともにより良く生きる力
<p>①五感で感じる力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の食べ物わくわくたんけんなどを通してふしぎを感じることができる。 ・自分の口の中を観察し、歯や歯肉の様子を見たり、舌触りなどで状態を感じることができる。 <p>②ふれあいよさを感じる力</p> <p>③関わり交流する力・コミュニケーション力</p> <p>④つながりを重視する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の食材生産者や、歯科医、歯科衛生士らと関わりを持つことができる。 	<p>①自ら探求する力</p> <p>ア 課題を設定する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みがき残しがないか、むし歯や歯肉炎になっていないか、よく噛んで食べているか、間食のとり方などについて自らの課題を明らかにすることができる。 <p>イ 情報を収集する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題から設定した目的のために必要な情報を収集することができる。 <p>(例) 第一大臼歯のみがき方、歯と歯肉の間のみがき方、よく噛んで食べるには、上手に間食をとるにはなど</p> <p>ウ 情報を分析する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から歯・口の健康にとって大切なこと、効果的なことは何か整理することができる。 <p>エ 表現・発信する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の中で調べたことを伝えることができる。 ・健康委員会などでまとめたことを給食時間や集会を通して全校に伝えることができる。 <p>②未来像を予測して計画を立てる力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8020運動についてふれ、将来の健康について考え、計画することができる。 ・むし歯や歯肉炎が進行しないよう治療やセルフケアができる。 <p>③多面的・総合的に考える力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯・口の健康が全身の健康につながっていることを考えることができる。 <p>(例)歯周病は全身の病であること、噛む力が及ぼす全身への影響など</p> <p>④創意工夫してつくり出す力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点から新たな考えを取り入れ、自分に合った歯のみがき方や間食のとり方などよりよいものを考え出していくことができる。 	<p>①自己を見つめる力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきの回数やみがき方、食事のとり方について生活を見直し、考えることができる。 <p>②問い直す力（批判する力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきがなぜ必要なのか、食後にみがくことの意味、むし歯になったら治療がなぜ必要なのか、なぜ噛むことが必要なのかについてなど問い直すことができる。 <p>③協力・協同し高め合う力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食後の歯みがきなどで互いに声かけができ、健康委員会のむし歯予防の取組や呼びかけに賛同し、協力できる。 ・歯・口について興味・関心を深め、互いに意見を述べたり聞いたりして話し合い活動ができる。 <p>④進んで参加する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康意識を高め、自ら進んで歯みがきやよりよい食生活を実践できる。 ・学校だけでなく、家庭でも意欲的に取り組み、継続していくことができる。

3 日常活動

(1) 食べ物わくわくたんけん

栄養教諭が給食の時間を利用して、ふるさとの食材を紹介したり、食材そのものを五感を使って味わって食べたり、かみかみメニューを紹介したりしている。

(2) 給食後の歯みがき

ランチルームで、食べ終わった児童から、健康委員会が作成したDVDをみながら3分間歯みがきをしている。水道の蛇口の数少なく、混雑解消のために、一人ずつ手鏡を配布し、鏡を見ながら自分の席でみがけるように工夫した。

(3) 歯みがきチェックカード

6月の歯・口の健康週間、夏休み、11月、冬休みの年4回歯みがきチェックカードを実施している。主体的に取り組めるよう、個人の目標を記入できるようにした。また、H28年度は保護者とも一緒にみがいてもらえるようよびかけた。

4 学校行事や児童会活動

(1) 歯・口の健康診断

5月と10月の2回行い、事前に学級でCやOなどの記号の意味を指導した。学校歯科医にむし歯だけでなく、歯垢のついていたり歯肉のはれているところを個別に指導していただいた。

(2) 全国歯みがき大会への参加

インターネット通信を使って、全国学童歯みがき大会に5年生が参加した。

(3) 健康集会

健康委員によるクイズや劇、歯みがき名人の表彰を行った。平成27年度は歯・口に関するコーナーを体験し、平成28年度は各学年の歯・口の取組発表会とした。

5 家庭・地域との連携

(1) 家庭との連携

ほけんだより、学校だよりなどを通じて歯・口の健康診断結果を知らせたり、歯・口の学習したことを報告したりして、歯・口の健康づくりの意識を高めた。

健康参観日で、歯・口の健康に関する授業を公開し、保護者の理解を深めた。また、講演会を開催し、仕上げみがきの大切さや、むし歯治療の重要性について知らせた。

(2) 地域との連携

地域の8020達成者へインタビューする機会を作り、歯を大切に守っていく秘けつをまとめた。

また、村のヘルスボランティアを招き、『ひみこのはがいで』について話を聞き、かみかみおやつを作った。健康参観日にも地域の人を招いて取組のまとめを発表した。

(3) 幼・小・中との連携

西栗倉村教育ネットワークで、歯・口の授業を公開し、分科会で協議を行った。

村内養護部会では、歯みがきチェックカードを作成したり、歯・口の取組の交流を行ったりした。

また、地域学校保健委員会では幼・小・中合同で開催し、歯・口をテーマに各校園の課題解決に向けて取り組んだ。取組のまとめを「地域学校保健委員会だより」に載せ、配布した。

6 歯・口の指導計画表と実践計画表の作成（12～13ページ）

平成28年度 歯・口の健康づくり実践計画表(系統表)

要素	課題	到達目標	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
生活行動	早寝・早起き・朝ごはんの習慣化	自分で就寝時間を決められる	○	○	○	○	○	○
	寝る前に歯みがき	自分から寝る前の歯みがきができる	○	○	○	○	○	○
	仕上げみがき	家族が第一大臼歯の大切さを知り、みがける	◎					
食生活	良く噛む習慣	意識して良く噛むことができる	○	○	○	○	○	○
	食べ物の好き嫌い	食べ物の好き嫌いを変えることができる	○	○	○	○	○	○
	間食のとり方	時間を決めて間食をとることができる	○	○	○	○	○	○
		歯に良い間食を選ぶことができる			◎			
		自分の体に合った量を知っている			◎			
	全身の健康づくりへの広がり	歯・口の健康づくりが全身の健康と関係していることがわかる	○	○	○	○	○	○
五感が満たされる食べ方	五感を使って食べることで、よりおいしく食べることができる	○	○	○	◎	○	○	
歯・口の清潔	歯ブラシの持ち方	自分に合った歯ブラシがわかる	◎	○	○	○	○	○
		自分の口に合った歯ブラシの持ち方ができる	◎	○				
	歯の汚れがわかる	汚れを染め出し、歯垢の付着がわかる	◎	◎				
		歯垢が歯の汚れであることがわかる				○		○
	前歯のみがき方	歯の汚れをとり、裏側もみがける		◎				
		歯は立体で毛先をあてる工夫ができる			◎	◎	○	○
奥歯のみがき方	第一大臼歯の噛みあわせをみがくことができる	◎	◎					
	小臼歯、第二大臼歯のかたちに合った歯みがきができる			○	◎	◎	○	
歯や口の健康状態の理解	歯・口の健康診断とその受け方	健康診断の意義を知り、自分のからだを知る	○	○	○	○	○	○
	乳歯から永久歯への交換と体の成長	永久歯の特徴を知り、守り育てる態度を養う	○	◎	○	○	○	○
	歯の形とその役割	人間の歯と動物の歯を比較して役割の違いを理解する					○	◎
	むし歯や歯肉の病気の原因とその予防	むし歯の原因を知り、予防する行動ができる	○	○	◎	◎	○	○
歯肉炎の原因を知り、予防する行動ができる					○	◎	◎	
病気の予防	あやまった生活習慣による病気を知る	ふだんの生活習慣が大切であることがわかる	○	○	○	○	○	◎
		よい生活習慣が健康づくりに必要であることがわかる	○	○	○	○	○	◎
		自分で健康のため生活習慣を変えることができる			○	○	○	○
	生活環境が予防に大切なことがわかる	タバコの害を知る						◎
		からだや衣類を清潔に保つ行動ができる	○	○	◎	◎		
歯や口の中のようす	歯・口の機能について知る	歯・口にはいろんな機能があることを知る	◎	◎	○	○		
		いろんな器官が関係して動いていることを知る					◎	○
		唾液には、多くの働きがあることがわかる					◎	○

◎・・・「学級活動」、「家庭科」、「生活科」、「総合的な学習」などで指導する

○・・・学年の実態や発達段階に応じて指導する

◎や○がない場合でも、日常指導や学級指導で扱う